

唐丹小学校 出前授業（月や星の動き）

日時： 2014年9月9日

場所： 釜石市立唐丹小学校

参加者： 小学4年生 14名

単元： 小4「月や星の動き」

講師： 竹下 陽子（お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 特任講師）

実施方法：

星座早見の使い方を学習する単元では、日中の授業で学習することが困難である。そこで、今回は天文ソフト「Mitaka」を使って、大型モニタにプラネタリウムのように星を映して実施した。児童は、講師が指を指した星の名前を、星座早見を使って探した。また、教室の窓から外を観察し、方角の確認方法や、月の観察記録の方法、角度の調べ方として「げんこつ法」を学習した。また、授業の後半では、天文ソフトを使って星座のお話しをし、北極星を中心にどのように動いていくのか、ソフト上で時間を進めることで星座の動きを全員で確認した。

実施結果：

講師が、クイズ形式でモニタに映った星を指さすと、児童は元気よく、自分が星座早見から読み取った星の名前を声に出して教えてくれた。

感想：

月や星の動きの学習だったので、子ども達が実際に見ることができない部分を見ることができよかった。また、4年生の教科書の内容に合わせて進めて下さったので、分かりやすかった。（教員）

